

公表日

令和8年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら蒲生茜町第2教室

保護者等数(児童数)

21 名

回収数 21件(割合100%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20			1	人数が多い日は手狭になることもありそうだが、充分利用している子どもたちが十分に動き回れるスペースがあると思う	利用人数に合わせて引き続き活動内容を変更していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		2	手が足りないのでは？と心配になることもあるが、第1教室と合同になったりで安否は保たれていると感じる 職員の人数が足りないと感じたことは特にない	利用人数に合わせて引き続き活動内容を変更していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		3	あまりこどもが立ち入らない場所は難しそうだが、クールダウンなど個室としては充分に思う 中に入って難しいと感じたことはなく、こどもたちにとっては分かりやすいと思う	引き続き、子どもの状態によって個室などクールダウンの場所の環境設定を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			2	きれいで可愛い装飾がされている 汚いと感じたことはなく、清潔できれいな環境だと思う	引き続き、生活空間は消毒し、利用者の受け入れ前には環境設定を行っていく。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				こどもの特性に応じて配慮してくれていると思う	引き続き、子ども1人1人の特性に応じた支援を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			2	私が知らないかもしれない 支援プログラムの内容が分からない	ホームページをご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21				面談では十分な時間を取り親身になって聞いて頂き提案・アドバイスを頂け助かっている 面談をしてくれたり、本人や保護者の話を都度聞いて作成してくれている	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1	こどもに対して必要な支援を設定されていると思う（具体的に）	面談時に再度説明していく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2			計画に沿った支援をしていていると感じる	引き続き、計画に沿った支援をしていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				色々なプログラム・レクをしていていると思う 色々なイベントを企画してくれて固定化はしていないと思う	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	2	7	こどもが参加していないだけで、そのような機会があるかもしれない 多分そのような機会もあると思いますがいつ交流しているか分からない	地域の他の子どもと関わる機会も検討していきたい。	
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21				最初利用を開始する時に丁寧に話があったと思う	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19		1	1	面談がある 計画を出し始める際一緒に説明してくれている	面談時に再度説明していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1		2	多いとは思わないが、参加した際は楽し過ぎて、知識を深められるものがあるとより嬉しいと思う ペアレントトレーニングをしているか分からない	家族支援プログラム等、機会があれば行ってきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21				連絡帳の様子の書き込みがある 送迎の際、職員と話す機会もあるので日頃から伝えている	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	1		送迎時に直接話ができる機会があり助かっている 面談以外自主通所になり話す機会がなくなってしまう、連絡帳のやり取りを大事にしたい 定期的に面談がある	送迎時や連絡帳でコミュニケーションを取っていきます。何かご相談があればご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				1	共感的に支援してくれていると思う

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	3	1	親子レクを定期的に開催していて、保護者同士話せる場を設けていただいているBBQがあった もっときょうだい同士の交流を設けてほしい 父親に会の運営は難しそうだと感じるが、定期的に保護者会があってもよいと思う 保護者同士の交流の場にまだ参加できておらずどちらともいえない	引き続き保護者会や、親子レクなどを計画していきます。その際にきょうだいの参加できるように企画していきたいと思えます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2		迅速にそして臨機応変に対応していただき感謝している 特に深刻な相談や申し入れがあるのか分からないが、手紙等で周知されているのではと思う 相談は常に出来るので、そういう場が常にあるように迅速に対応してくれていると感じる	引き続き、出来る限り迅速に対応していきたい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	21			事あるごとに電話連絡をいただいている 毎回連絡帳の様子を書いてくれたり、送迎の時に話して意思の疎通はできていると思う	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19		1	こぼんだより楽しみにしている こぼんだよりが定期的に発行されていて楽しみにしている 写真付きのお便りいつも楽しみにしている	引き続き、こぼんだよりで月に1回発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	19	1	1	特に気になったことはない	個人情報や、カギのかかる書庫に管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	5	避難訓練をしているのは分かっているが、防災マニュアルがあるかは分からない	面談時に再度説明していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		4	避難訓練はとても良いと思う 避難訓練は定期的に行っていると聞いている、参加できる時はしているとと思う	引き続き年に2回避難訓練を実施していきます。実施後、こぼんだよりに掲載しますのでご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	19		2	安全の確保はしてもらえていると思う	安全の確保に留意して支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	17	1	3	電話で連絡をいただいている 確か説明をしてくれたと思うが、覚えていない	引き続き、事故やケガをした際は電話連絡で状況説明をしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20		1	とても安心している 本人が気持ちの乗らない時もあります が、安心感を持っていると思う	子ども達が安心感を持って通所できるように、子どもたちと信頼関係を築いていきたいと思えます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	1	いつも楽しく通うことができているのも先生方のおかげです、ありがとうございます 楽しみにしている とても楽しみにしている こぼんが大好きでいつも楽しみにしている デイサービスの本にランキングが上位なので、楽しみにしていると思う	子ども達が楽しく通所できるように、子どもたちと信頼関係を築き、楽しく参加ができるプログラムを計画していきたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21			子どもに合った支援をしていただきありがとうございます、いつも助かっています、今後も親子ともどもよろしくお願いいたします いつもありがとうございます、これからもよろしくお願いいたします 子どもにとっては大事な第3の居場所、生き生きと活動できていると感じる	

公表日

令和8年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 浦生西町第2教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		狭いが大きい子たちには良いのではない か	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3		難しい場合は他教室の職員に応援に来て もらっている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		仕切りのある机があり、必要に応じて落 ち着けるパーソナルスペースになってい る 仕切りの空間がある	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1		公表はされていない
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	1		レクは固定になってしまうので、新しいのを考え立案していく
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			職員の配置を分かりやすいように可視化している

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	支援終了後に出来なかった際は、後日朝に行っている 次の葉に反省会をして振り返りをしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	児発管や管理者が担当している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	送迎時に学校での様子を聞いている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	児発管や管理者が担当している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	連絡帳を活用したり、送迎時や電話等でこどもの状況を伝えあっている 送迎時や連絡帳にて共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	責任者や児発管が行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	責任者や児発管が行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	保護者と利用者で参加ができる活動を行っている 親子レク、BBQを実施	保護者会はできていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	月に1度のお便りを発行している こぼんだよりを配布し、日々の活動を載せている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		てんかん発作が起きた際の対応方法を職員間に周知している てんかんの子の保護者と状況を確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	アレルギー表を張って周知	情報が古いことがあるため定期的に見直す必要がある
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		オンライン研修を受けたことがある	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			